

## 「博多湾物語」に新たな1ページ



### 空中滑走

能古島を背負ってフォイリング状態で滑走する日本艇「ソフトバンク・チーム・ジャパン」。海面から船体を浮かせて飛ぶように走る。中腰で操船するのは早福和彦総監督(50歳)＝左端＝。

11月19・20日 アジアで初めて  
アメリカズカップ開催

海の怪物まがいの流線型の船体が博多湾を疾駆した——当館の展示テーマ『博多湾物語』に新たなページを開くヨットの第35回アメリカズカップ(アメリカ杯)・ワールドシリーズ(W.S)最終第9戦が11月19、20日の両日、福岡市の地行浜沖で開かれ、日本のソフトバンク・チーム・ジャパン(早福和彦総監督ほか5人乗り組み)と米、英、仏、スウェーデン、ニュージーランド六カ国の双胴艇(全長13.45m、高さ21.5m)が、世界最高のスピードレースを展開した。

★  
アジアで初めて開催されたレースを博多湾に招致したのは、ソフトバンクの会長で佐賀県出身の孫正義氏(59歳)。湾岸に面したプロ野球ソフトバンクの本拠地ヤフードームの沖合にレース海域を設定した。西方には能古島の島影がくつきりと浮かぶ。

博多湾は海にまつわる歴史の宝庫だ。湾岸には元寇防塁跡が点在し、13世紀の国難を今に伝える。能古島と糸島半島の浦々は江戸時代、五ヶ浦廻船の海運業で栄え、千石船60隻余を擁した。70年前には敗戦による海外からの引揚者約139万人が、中国大陸や朝鮮半島から着の身着のまま、博多港に上陸した。

◇94歳 帆船模型35年◇  
元福教大教授  
**蓮尾正博さん 個展開く**  
本館展示作品など40隻

能古博物館が所蔵する帆船模型28隻を製作して寄贈した福岡教育大学名誉教授蓮尾正博さん(94歳)の個展『帆船の歴史』(オリジナル作品に挑戦して35年)展が、11月3日から6日まで福岡市中央区で開かれ、本館所蔵の遣唐使船など7隻を含む40隻が勢ぞろいした。

会場の福岡市赤煉瓦文化館には4日間で約500人が訪れ、余技とは思えない精巧な作品に感嘆の声が上がった。

4日間に500人が訪れた



蓮尾さん夫妻は約2年半前、福岡市のマンションから玉名市の有料老人ホームに転居した。ホームの代表者で福教大の教子北村和則さん(61歳)によると、ホームには蓮尾さん専用の工作室があつて、小型の亀



本館所蔵の遣唐使船



94歳の蓮尾正博さん

甲船(朝鮮半島)などが年間3隻ぐらいのペースで進水する。1年前に病気で奥さんを亡くしたが、めげずに韓国旅行に出かけ亀甲船の材質を調べたり、玉名や博多の夜の街で一杯傾けたり。会場を訪れた実妹(81歳)は春日市在住。兄は旧制筑紫中時代から小さなフネを作っていた。」と話した。



蓮尾さんの近作「亀甲船」

北村さんの話 蓮尾先生の手先の器用さは驚くばかり。集中力もすごい。趣味の帆船作りではこの二、三十年間に夫婦で帆船の先進国・欧州をたびたび巡って、持ち前の研究熱心さで技に磨きをかけた。アジア太平洋博(1989年・福岡市で開催)ではメイン・テーマ館に先生の作品30隻が展示され、日本中にその名を知られた。

**蓮尾正博さんの略歴** 大正11年大牟田市生まれ。福岡教育大名誉教授。広島高等師範(現・広島大教育学部)在学中に物理学実験室で被爆。レンガ造りの建物が幸いして直撃は免れたが、救助活動で市内を駆け回ったため大量の放射能を浴びた。

◇野間中放送部・ビデオ制作◇  
「引揚げ、知らなきゃいけない真実」  
☆全国コンテストで優良賞☆

福岡市立野間中学校(有光利喜校長)の放送部が当館の常設展示『海外引揚げの記憶』などを取材したビデオ作品「引揚げ、知らなきゃいけない真実」(8分間)が、8月の第33回NHK杯全国中学校放送コンテストで、「優良賞」を獲得した。

全国大会は317校が参加して8月上旬から中旬にかけて東京都内で開かれ、アナウンス、朗読、ラジオ番組、テレビ番組の4部門に分かれ、予選、決勝を争った。野間中は58作品が競ったテレビ番組部門に挑戦、予選を勝ち抜き、決勝で優良賞に輝いた。



入賞を喜ぶ野間中学放送部の部員たち

同放送部が70年前の史実「引揚げ」をテーマに選んだきっかけは、部員のひとりに引揚げ体験者の曾祖母がいたから。昨年末に取材を始め、当館では別館2階の引揚げ展示を中心にカメラを回した。顧問の先生や校外顧問の専門家の助言を得て完成。7月の第53回福岡市中学校放送コン(27作品)に出品して最優秀賞、続く第52回福岡県中学校コン(31作品)では銀賞を占めた。

11月に大阪で行われた第36回「地方の時代」映像祭の高校生(中学生)部門で、野間中放送部の「引揚げ、忘れちゃいけない戦争の真実」(改題)は、高校生に伍して2年連続、奨励賞を受賞した。昨年の入賞作品は「飲めなくなった井戸水」私たちの町に残された戦争の傷跡」。

**部員たちの反響** 「番組制作を通じて、被害者は日本人だけではなく、外国の人たちも日本に支配されて大変だったのだなと思った。引揚げの歴史を伝えるため、今後もしも色んな活動をしたい。」「語り継ぐこと、伝えること」の大切さを痛感した。1人でも多くの人に作品を見ていただき、引揚げの背景を知ってもらいたい(いずれも2年生の女子部員)。

集団で競り合う各国艇。日本艇=左端=はフォイリング中。強風下では時速約40ノット(約70キロ)に達し、体感時速は200キロという。↓



疾走する日本艇。強い風をつかまえたとき船体に取り付けた水中翼を下して水の抵抗を少なくし、クルーは右に左に移動して船体を傾け、片舷にしてスピードを上げタイムを稼ぐ。船体は普通乗用車並みの軽さ。↓



# アメリカ杯写真特集



◀競技開始前の「エアショー」。アジア人初のエアレースパイロット室屋義秀さんが会场上空でトップレベルの操縦技術を披露した。単発機の機体からスモークを吐きながら15分間、背面、急降下、垂直飛行、きりもみの妙技を次々に繰り広げ、集まった約8千人の観衆の目を奪った。



↑風を読み、風を捜して操船するクルー。20日は3レースとも風が弱く各チーム苦労した。舵を握る艇長(スキッパー)は心臓部。メンバーのロープワークとウインチ操作、息のあったチームワークが勝敗を決める。=福岡大会で優勝したランドローバー・BAR(英国)チーム

レース海域を見下ろすシー・ホークホテルの壁面に飾られた「アメリカズカップ」の大きなロゴ。市内はもとより全国から多くのファンが集まった。内外からの観戦艇は200隻以上に達した。→



**アメリカ杯小史** 最初のレースは165年前の1851年8月、世界の海を制した大英帝国の威信をかけて始まった。英仏海峡のワイト島を一周するレースに英国艇14隻、米国艇1隻の大型帆船が参加。新興国家の米国から大西洋を横断して挑戦したニューヨーク・ヨットクラブ(NYYC)のアメリカ号が1位をさらった。1851年と言えば、遭難船員ジョン万次郎が日本へ帰国した嘉永4年である。

★ 挑戦したオーナーに著名な富豪がいた。アイルランド出身の紅茶王リプトン(ロイヤル・アスターYC)は第10回(1899年)から第14回(1930年)までの5回にわたってカップ奪還を目指したが、夢は叶わなかった。6回目の挑戦に向けて新艇を建造中の1934年、84歳の生涯を閉じた。

★ 1983年9月26日、北米ニューポート沖。西オーストラリアの実業家アラン・ポンド率いる挑戦艇オーストラリアII号(ロイヤル・パースYC)は防衛艇リバティー号相手に14日間、7回の緊迫したレースを展開。1勝3敗の崖っぷちから這い上がり、4勝3敗の逆転勝ちを収めて、アメリカ杯をオーストラリアにもたらした。

★ **博多湾では** 大会を前に姪浜の能古渡船場の目の前、西福岡マリーンのポンツーンに巨大な外洋ヨット(全長45m)が寄航した。写真。レース応援のためアメリカ艇のオーナーが回航した自家用ヨット。このほか自家用機で飛んできたオーナーもいた。福岡空港の混雑を避け佐賀空港に駐機したという。



## 「医を届けて」10年 ロシナンテスの川原尚行さん 原看護専門学校で講演

アフリカのスーダンで医療援助活動10年間余り。北九州市出身の医師川原尚行さん(51歳) Ⅱ国際NGOロシナンテススーダン代表Ⅱが11月16日、福岡市東区青葉の原看護専門学校講堂で学生たちに活動の現状を話した。Ⅱ写真は校内で記念撮影に応じる川原さん(右側)Ⅱ



イスラムの国スーダンは人口約3千8百万人。女性の地位は男性に比べて低い。川原さんは「箱モノを作るだけではなく魂を入れなくては」と支援から自立に方向を転換、無医村の女性7人を2年間かけて村落助産婦に育て上げた。今では子どもたちが「あんな人になりたい」と将来の夢を託す存在になった。

これまでに行った主な事業は巡回診療、井戸掘り、風力発電、子どもの教育など。相手の懐に飛び込んでいくのが信条の川原さんは、地元の人々が飲料に常用する川の泥水を勧められるままに飲んで半年間、下痢が続いたとか。

ロシナンテスは年間の活動経費約1億2千万円の7割を寄付に頼る。川原さんと当館は、講演会の開催や支援の「ワンコイン募金」などで友好関係にある。

## 能古島一周ウォーキング大会開く

今年で6回目を迎えた島一周のウォーキング大会(主催・福岡市郵便局長協会)が快晴の11月12日に行われ、約700人が参加した。浜崎グラウンドをスタート・ゴール地点に、島を反時計回りに一周する8・5キロのコース。

市内の郵便局から多数の局員が駆けつけ大会運営のサポート役を務めた。完歩した参加者はゴール地点で色風船のゲートをくぐり、局員らが拍手で迎えた。



11月には珍しいポカポカ陽気に、乳母車を押した若いお母さんとお父さんや、おじいさんとお孫さんの2人連れなど、家族連れが目についた。前半の急所は大泊周辺の急な上り坂、アイランドパークで無料のオシッコ休憩をした後、後半の3キロ余は島の西側の舗装された平坦な山道を一気に歩く。茂るに任せた杉木立と竹林に視界をさえぎられ、せつかくの小戸海岸や糸島半島の景観が見逃せないのは残念だった。



## 看護学生80人来館

原看護専門学校(朔元則校長・福岡市東区青葉)の男女学生80人が11月1日、研修のため来館した。館側は展示内容の説明に当たり、「博多湾物語」の史実や儒学者亀井南冥一門の功績に触れて、「皆さんが看護する患者さんは高齢者が多いと思う。目の前の患者さんがどんな時代を生きてきたのか、展示物を理解することでその人の生きてきた時代と考え方の一端がわかるような展示内容です。患者さんとのコミュニケーションに役立ててください」と話した。



## 主なグループ来館 (平成28年8月～11月)

- ▼「8月」27日(土)リクルーティング パートナース(株)研修26名
- ▼「9月」17日(土)東京大学運動会ヨット部OB会(淡青セーリングクラブ)会長田中一光氏一行10名
- ▼「10月」9日(日)西区よかとこ案内人「姪浜あこめの会」能古ウォーク24名、東区NPO法人子ども会10名、22日(土)福岡家裁調停委員会「大手門歩こう会」8名
- ▼「11月」1日(火)原看護専門学校能古研修80名、12日(土)九州大農学部能古研修6名、20日(日)新老人の会福岡支部例会30名、25日(金)能古小学校ロボットプログラム授業33名

## 新入会員の皆さん(敬称略)

- 「協賛個人」田中一光、岸恒憲
- 「友の会」友重みき、荒木英子

能古博物館協賛ご寄附及び友の会(継続・新規)会員

(平成28年11月末現在)

協賛ご寄附

(法人)

- 医療法人笠松会 有吉病院
医療法人社団江頭会 さくら病院
医療法人恵光会 原病院
医療法人西福岡病院
(医)博仁会福岡リハビリテーション病院
医療法人 原三信病院
社会医療法人 原土井病院
税理士法人エム・エイ・シー
西日本シティ銀行 土井支店
社団法人あおば研究所
エムサービス(株)
(株)サンコー
(株)CDS
(株)ホームケアサービス
(株)筑紫不動産
(株)メディカルアシスト青葉
(株)旭工務店
(株)アサヒホーム
(株)内藤工務店
(株)ふく福サービス
(有)福岡住宅流通サービス
(株)ミス
(株)ワイエムフーズ
浄満寺
彩苑

(個人)

- 足立晴道 石野智恵子 出光豊
出光芳秀 上崎典雄 久我道雄
柏木重人 亀井准輔 久我篁子
久保千春 毛戸彰 朔元則
鳥塚祐弘 鈴木友和 添島律子
多々羅節子 寺田隆 戸井雅貴
仁保喜之 原裕介 原寛
林十九楼 増田康治 翠川文字
林純 田中一光 岸恒憲
(敬称略・順不同)

友の会会員

注1 敬称略・五十音順
・数字は会員歴(年数)

- 明石幸 上田恒久
秋山雄治 内海真記子
秋吉包雄 宇都宮邦子
麻生静四郎 浦田裕二郎
麻生芳正 三浦幸三
阿部芳文 合馬武久
荒木英子 大石由美子
有川優子 大石恭仁子
井浦泰司 大木照子
池田修三 大塚健治郎
池田幾生 大智玲子
池見葉満代 大野彩子
石橋慶二 小川和子
石橋延枝 小川美枝子
石橋善弘 沖村明孝
石橋美感行 奥田智文
泉建志 小倉智文
伊勢幸裕 小野崎徹
板倉修二 榊島浩水
市丸喜一郎 金我柳子
井出美子 榊島浩水
稲葉明夫 釜我陽一郎
井上透 釜我陽一郎
今永一成 神山啓治
今村幸枝 河邊慶博
今村さち 河邊慶博
岩尾通宏 河邊慶博
岩清水由紀子 河邊慶博
石清水元 河邊慶博
上瀧玲子 岸川伸子
上瀧幸則 岸川伸子
(敬称略・五十音順)

協賛寄附のご案内

法人100万円×口数
個人100万円×口数
税制上の「寄附金控除」の対象になります。

納入方法

- 1、郵便振替え 017300960970
公益財団法人 能古博物館
2、銀行振込み
西日本シティ銀行 土井支店
普通 0551459
公益財団法人 能古博物館

友の会入会のご案内

- 友の会会費
1000円(何口でも可)
※会費の納入方法
郵便振替
017300960970
公益財団法人 能古博物館
(1) 振込み料は当館にて負担致します。
(2) 会費の納入確認後、会員証とコーヒーマグをお送り致します。
(3) 会員証の有効期間は1年と致します。
(4) 入館時に会員証を受け付けに提示下さい。ご入館は随意で何回でも無料です。(ご同伴1名まで無料)
(5) コーヒーマグで挽きたてのコーヒーを博多湾を見ながらお飲みいただけます。
(6) 機関誌「能古博物館だより」を各年度3回(予定)、お届け致します。随想やご意見を歓迎します。但し誌面の都合で掲載を見送る場合はご容赦願います。原稿はお返し出来ません。必要なら事前にコピーをお願いします。
(7) 館が企画する催物のご案内に参加費の割引を致します。

ようこそ博物館へ



**開館日** / 毎週 金曜・土曜・日曜と祝日  
 ※団体の場合は休館日にかかわらずご相談ください  
**開館時間** / 10:00～17:00(入館16:30まで)  
**入館料** / 大人400円・高校生以下無料  
 ※団体20名以上2割引  
**★「冬休み」いたします。**  
 (注) 冬季(今年は12月19日～来年2月23日)は、展示物入れ替えなどで長期休館を原則としています。御用の場合は事前にお問い合わせ願います。

渡船場からアイランドパークへの西鉄バス時刻表(平成28年12月現在) ※博物館へは「能古学校前」で下車して下さい。

渡船場前発 アイランドパーク行	平日	07:57	08:48	09:45	10:30	11:30	12:55	13:35	14:35	15:35	16:45	
	土曜日	07:57	08:48	09:45	10:30	11:30	12:55	13:35	14:35	15:35	16:45	
	日・祝日	07:57	08:48	09:45	10:30	11:30	12:55	13:35	14:35	15:35	16:45	18:00
アイランドパーク発 渡船場前行	平日	08:23	09:20	10:03	11:13	12:28	13:18	14:18	15:18	16:18	17:28	
	土曜日	08:23	09:20	10:03	11:13	12:28	13:18	14:18	15:18	16:18	17:28	
	日・祝日	08:23	09:20	10:03	11:13	12:28	13:18	14:18	15:18	16:18	17:28	18:38

※ 繁忙期は臨時便が運行されます。

浜旅旅客待合所  
までのアクセス

**西鉄バス**

- JR博多駅より 博多口正面Aのりば  
300、301、302番「のこ渡船場行き」:約50分
- 天神より 三越前1Aのりば  
300、301、302番「のこ渡船場行き」:約30分

**市営地下鉄:「姪浜駅」下車乗り継ぎ**

- 西鉄バス姪浜駅 北口  
98番「のこ渡船場行き」:約12～20分
- タクシー:約8分

**市営渡船(フェリー)**

- 姪浜一能古島間:約10分

**お問い合わせ**

姪浜旅客待合所  
TEL 092-881-8709

能古旅客待合所  
TEL 092-881-0900

**能古・姪浜航路 時刻表**

能古 発				姪の浜 発					
能古 発	8	10:00	16	17:30	姪の浜 発	8	10:15	16	17:45
1	◎05:00	9	11:00	17	18:00	1	◎05:15	9	11:15
2	06:00	10	12:00	18	18:30	2	06:15	10	12:15
3	06:30	11	13:00	19	19:30	3	06:45	11	13:15
4	07:00	12	14:00	20	20:15	4	07:15	12	14:15
5	07:30	13	15:00	21	20:45	5	07:45	13	15:15
6	08:00	14	16:00	22	21:45	6	08:15	14	16:15
7	09:00	15	17:00	23	◎22:45	7	09:15	15	17:15
								23	◎23:00

※ 繁忙期はフェリー臨時便が運航され、島内バスの臨時便と接続します。

◎印は日祝日連休 平成28年12月現在